

親子のたまり場 卒業生親の声

私が初めて「親子のたまり場」を知ったのは、まだ独身の頃でした。町内会の掲示板にあった、たまり場のカレンダーを見て「色々なところで親子が集まったり、イベントがあるんだな」と思っていました。

子育て中に 自分が孤独だった時の経験を わたしが悩んだ時の解決法を わたしが助けてもらったそのお礼に 今度は、あなたの子育てを応援したい

独創的なかめっ子の人の輪

関東学院大学 土谷 みち子先生 かめっ子、10周年おめでとうございます。私が初めて皆さんの活動を知ったときの感慨は忘れられません。

ホームページもご覧ください

親子のたまり場のかわら版を見ることができます http://oyagame.web.fc2.com/

すくすくかめっ子 これからの10年に向けて

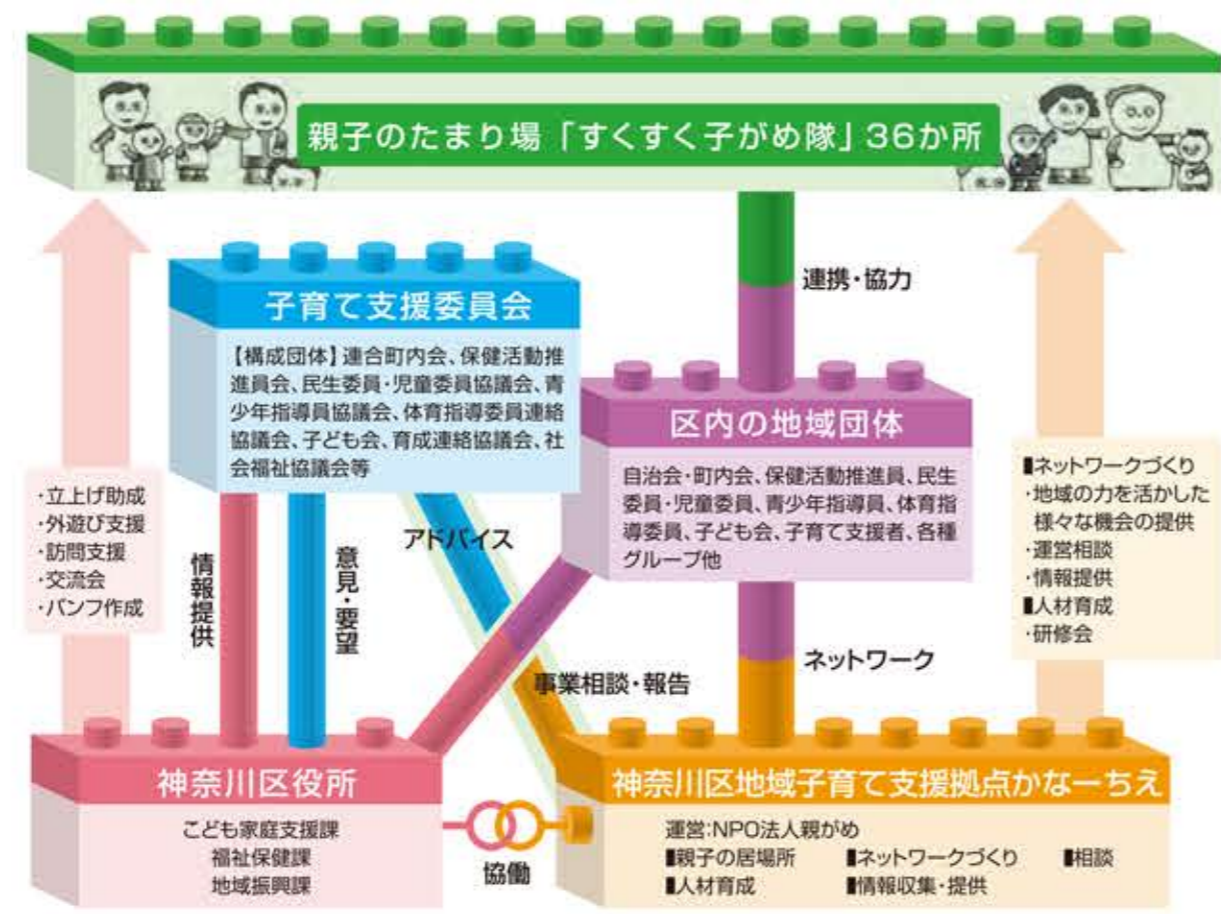
すくすくかめっ子事業は、町ぐるみで「子育て・子育て」を支え続けるしくみづくりをした神奈川県と、「親子のたまり場」の支え手さん達の「孤育てを少しでもなくして、親子と人がふれあう温かい場を届けたい」という熱い思いとの両輪で、続いてきました。

遊びに来てくれる親子の笑顔と若いパワーが、いつも元気の素を注いでくれます。10年を経て、赤ちゃんの頃に出会った子が小学生、中学生になり、少し時間ができた若い親達も、わが町のたまり場の支え手になって還ってきてくれるようになりました。

次の時代の子育てがもっとラクになるように、次の世代の子ども達の未来が少しでも明るいものになるように...居心地のいいたまり場を続けていくこと、いっしょに語り合い、力を貸してくれる人の層を厚くしていくこと、バトンを渡し人をつなげていくことが、すくすくかめっ子事業のこれからの10年になります。



<神奈川県 すくすくかめっ子事業のしくみ>



なぜ? 10年以上 続いていくの? 理由をナゾ解く 記念紙です。

神奈川県 すくすくかめっ子 まちで、みんな、子育て・子育てを見守ろう!



人もお金も まちの自力で 子育てを応援して10年経ちました。

親も子も「このまちで暮らしてよかった」と思えるよう、神奈川県を子育てが楽しい「まち」にする風土づくりをしていこう!とスタートしたすくすくかめっ子事業。行政と区民(町内会等)のパートナーシップを事業のカギに、検討を重ねた結果「子育て中の人がほしいもの」「地域の人が取り組めること」として「親子のたまり場」づくりが始まりました。